

令和8年度ひろしま感性イノベーション協議会運営業務公募型プロポーザル 議事要旨

ひろしま感性イノベーション推進協議会企画運営委員会

令和8年度ひろしま感性イノベーション推進協議会運営業務公募型プロポーザルについて、次のとおり審査した。

1 会議の概要

開催日時	令和8年4月20日（月） 10：00～12：00
開催場所	WEB（ZOOM）
開催方法	WEB（ZOOM）
出席委員名	A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、
応募事業者	公益財団法人中国地域創造研究センター
議題	令和8年度ひろしま感性イノベーション推進協議会運営業務公募型プロポーザルの審査
担当部署	広島県商工労働局 自動車・新産業課

2 議事要旨

○ 審査基準及び結果等

本協議会は感性工学を活用したものづくりを活性化することにより、高付加価値な製品の創出の促進に取り組んでおり、別表の審査基準に基づいて審査を行った。

その審査結果は次表のとおりであり、最優秀提案者として公益財団法人中国地域創造研究センターを選定した。

審査基準	評価の視点	配点	応募者	評価
			最優秀提案者	
提案内容				
実施方針	○目指す姿は適切か。 ○現状や課題などをふまえ、明確かつ効果的な課題解決方針が記載されているか。	80	68	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の枠組みや広報など工夫を行っている。 ・テーマ、目指す姿、支援内容の関連性が薄い。 ・企業が本気でやる風土を醸成する仕組みに発展させた。 ・具体性が高くよいプランになっている。
普及啓発・人材育成	○営業活動は、新規会員企業の増加が見込める内容になっているか。 ○ワークショップは、企業が感性工学等を活用したものづくりに自社で取り組むために、必要な知識を習得し、実践する意欲を高められる提案となっているか。	100	80	<ul style="list-style-type: none"> ・前年までの取組を検証し効果を高める工夫を行っている。 ・具体的な支援が有償メニューが、協議会卒業後に丸投げになっているように見える。 ・広島県内外の企業が、「ひろしまと言えば、感性」と広く認知される、実績と営業活動を促進が重要。 ・教育相談体制もよく考えられている。
企業内展開支援	○十数件の事業化・着手が実現できる計画や体制となっているか。 ○プロジェクトチームの支援により、3件の成功事例創出が期待できる内容になっているか。	100	80	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的である。 ・具体的な支援先企業名が挙げられており、達成できる可能性が高い。
地域連携	○関係機関が連携して、一貫した企業支援が実施できる内容になっているか。	80	64	
実施体制	○円滑に業務が遂行できる体制となっているか。 ○業務従事者は十分なスキルを有しているか。 ○類似業務の実績を有しているか。	60	51	<ul style="list-style-type: none"> ・支援業務について、十分な実績がある。 ・体制はよく練られている。
実績・強み	○感性工学に関連する独自のネットワークを有しているか。その他、提案者独自の優位性・特長があるか。	40	32	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実績を有している。
実施スケジュール	○実施スケジュールは計画的で実現可能なものか。	40	32	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なスケジュールで提案されている。

<p style="text-align: center;">合 計 点 数</p>	<p style="text-align: center;">500</p>	<p style="text-align: center;">407</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの業務実績から円滑な事業運営が期待できる。 ・これまでの実績があり、ノウハウも蓄積されているので、継続して事業推進することが望ましい。 ・実施内容、スケジュール、地域連携体制については、レベルの高い提案がされている。 ・有償支援メニューが導入されたことで、協議会活動の位置づけがあいまいにならないようにする必要がある。 ・これまでの活動をベースに、今年度強化していく領域が明確に記載されており、成功に導くシナリオができていると感じる。 ・今回から有償化する方針について妥当な案である。 ・感性工学についての中小企業のAI活用を、具体的に教える機会が必要。
--	--	--	--

※本結果は、5名の委員の合計点によるものである。